

[dōnk]

D O N C どんく

発行

三重日仏協会

SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE

〒514-0006 津市広明町418
418, Komei-cho Tsu-shi
TEL 059-226-2766
FAX 059-229-0967

N° 79 juillet 2007

SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE



フランス大使夫妻招き

創立20周年記念レセプション

「日仏修交150年を機にさらに地方レベルの交流を」大使あいさつ

三重日仏協会の創立20周年を祝うレセプションは、7月1日在日フランス大使ジルダ・ル・リデックご夫妻一行をゲストに迎え、定例総会に引き続いて、津市の都ホテルで開催されました。本会は例年7月に総会と「パリ祭」のパーティーを開いていますが、今回は会員や家族、友人、この地方在住のフランス人10名ら、これまでで最も多い110名の参加で盛大なものとなりました。津市の松田市長、藤原副市長らも来賓として出席いただきました。

「唐人おどり」、津児童合唱団による歓迎演技の後、スピーチに立った大使は「三重日仏協会の20周年で三重の地に招かれてたいへん嬉しく思う。また地方在住の同胞たちにこうして会える機会を作っていただき感謝している。来年は日仏の外交関係が樹立されて150年の記念すべき年で、政府レベルで要人の相互訪問などが予定されるが、私は特にこれを機会に地方自治体や市民同士の交流をさらに深めていくことが大切だと考える」などと述べられました。翌2日、大使夫妻は、大使館政治部エマニュエル・ベニエ一等書記官、アリアンスフランセーズ愛知ブノワ・オリヴィエ館長とともに三重県知事、津市長、三重大学人文学部を表敬訪問、本会から豊田会長、井土副会長が同行しました。

(写真) 右からル・リデック大使、クリスチアンヌ夫人、ベニエ書記官、オリヴィエ館長

ル・リデック大使夫妻をお迎えして



歓迎の出し物として、津市の伝統民俗芸能「唐人踊り」と津児童合唱団による可愛い日仏の童謡が披露された。大使夫妻は終始目を細めて熱心に鑑賞された。

ル・リデック大使のスピーチ（p1に大要）。本題に入る前、大使は、<donc>前号で豊田会長が、昨秋の大使館の会合の際、大使のスピーチが長く1時間もかかったと書いてあったことを引用され、「今日は短く四分の一で済ませます」とユーモアたっぷりに話され満場の笑いを誘った。わが会報を熟読しておられることに驚嘆。

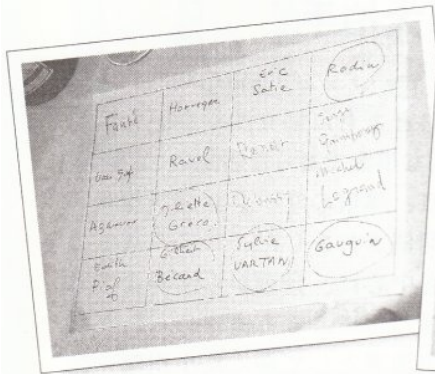


松田津市長の発声による乾杯がすむと、大使夫妻はすぐさまそれぞれにパーティーの輪のなかに入られ、親しく懇談された。あちこちで記念撮影も。



フランスの伝統的技法であるreliure（製本、装丁）を修業している本会員の鈴木敬子さんが、この日のために特に手がけた西陣織や和紙、伊勢型紙などによる和風装丁の写真帳とゲストブックを大使夫妻に贈呈。夫妻はたんねんにあらためながら感心しておられた。





三重日仏独特の恒例のビンゴゲーム。今年のテーマはフランス美術・音楽界の巨匠と、シャンソンの人気者の名前だった。大使も積極的に参加し、用紙に次々と思いつく名前を書き込まれた。結果は接戦の末ビンゴを獲得され大喜び、「このビンゴは名案だ、これからは大使館でも真似てやってみよう」。



レセプションの最後は、創立当時から活動してきた会員で当夜参加の9人が壇上に集まり、今後のさらなる会の発展を祈ってめでたく手締めのお話をとった。



7月2日、大使一行は三重県庁に野呂知事を、津市役所に松田市長を表敬訪問され、日仏関係の現状や、今後の地方レベルでの交流などについて意見をかわした。また三重大学人文学部では、フランスからの留学生、岩本美砂子教授（政治学）らフランス学系教員との懇談、さらにグットマン准教授によるPBL演習のようを參觀された。

ル・リデック大使からは、さっそく7月3日付で豊田会長宛て丁寧な礼状をいただきました。その一部（訳）を紹介します。

＜短期間ながらも美しい三重を訪問いたしました際には、日仏協会の皆さんにお世話になり、改めてお礼申し上げます。私ども夫婦だけでなく同行者にとりましても、終始友好的な雰囲気の中で過ごさせていただきました。

創立20周年を祝うレセプションが成功裡に終了し嬉しく思います。当日はフランス語の堪能な方が多いのが印象的でした。また県内に住むフランス人にも声をかけていただき、ありがたく存じます＞

尊敬と心からの感謝とともに ジルダ・ル・リデック

創立20周年
記念コンサート

「みえ・にちふつの音楽家たちⅡ」

多彩で充実した演奏に大拍手



大使歓迎行事とともに創立20周年を記念するもう一つの大切な事業であった表記のコンサートは、5月26日、津市のリージョンプラザ・お城ホールで開催されました。ピアニストの針谷宏弥さんを中心に、企画から演奏まで本会会員の音楽家たちによってすすめられた音楽会。ゲスト出演者として迎えた小川剛一郎さん（チェロ）、北住淳さん（ピアノ）の名演奏をふくめて、独奏、独唱、連弾、さらに

会場とともにシャンソンを合唱するシーンなど、高い水準の音楽性と、多彩で楽しい内容に300人余の聴衆は大きな拍手を送っていました。ほか出演された会員音楽家は：（ピアノ）大廣朋子さん、菅原美枝子さん、尾崎敦子さん、（声楽）針谷斐子さん、村林浩代さん

◆◆◆ 平和をねがう二つの催し ◆◆◆

8/6(月) “フランスのアメノウズメが日本の琴で舞う”

奉納「和と輪」 松阪・水屋神社

昨年秋、ブルゴーニュの農村にフランスでは初めてとなる神社を分祀した松阪・水屋神社の久保宮司（本会会員）が、今夏また珍しい催しを企画されました。長年にわたってパリでオリエンタルダンスを指導し、毎年100人もものすぐれたダンサーを世に出して国際的にも評価されているというカメリアさんが、琴とトロンボーンの演奏に乗ってベリーダンスを奉納、平和を祈念するという行事です。

8月6日（月）午後3時から5時ごろまで（神事をふくむ）

松阪市飯高町赤桶の水屋神社で

同実行委員会主催、三重日仏協会後援

（問い合わせ先）090-1274-7986

9/2(日) 平和のための音楽会

上記の20周年記念コンサート「みえにちふつの音楽家たちⅡ」に出演した針谷宏弥・斐子夫妻をはじめ、大使歓迎レセプションで可愛い演奏を披露した津児童合唱団ら8組の音楽家たちが出演します。同実行委員会主催、津市後援。

9月2日（日）午後2時開演

津市リージョンプラザお城ホール

協力券 500円